

## 今の実力を自己採点し、足りないスキルを補填する 1 級個別レッスン講座 問題把握力強化編

「受検者の傾向」を踏まえ、事例相談者視点と事例指導者視点の問題を的確に把握する 問題把握力スキルアップ				受講料：会員価格	受講料：一般価格
東京	2022年10月2日(日)	9:30~16:30	会場：東京都立産業貿易センター浜町館 JR浜町駅 徒歩5分	23,000円 税込	28,000円 税込
大阪	2022年9月25日(日)	9:30~16:30	会場：神戸大学大阪凌霜クラブ 梅田・大阪駅 徒歩5分		
目的	<p>1 級面接試験は、まず経験 2 年目の事例相談者の話を聴いて事例相談者視点の問題を把握した後、事例指導者として事例相談者が気づいていない面談技法上の問題を把握し、本質的解決を目指すところから始まります。</p> <p>※以下のスキルチェックしながら、補填ポイントを把握します。 事例指導者として捉えるべき本質的な問題です。しかし本人が課題に気づいていないという設定です。気づきがあれば、その解決を目標として提案し、具体的な指導をその場でします。これが1 級試験です。</p> <p>そのためには事例相談者が、指導者を信頼して自分の胸の内を話してもらうことから始まります。⇒ここでは傾聴の意味と傾聴スキルが必要です。たくさん話してもらうからこそ、事例指導者は何が問題であるかを見立てることができます。⇒問題把握力の点数をアップするポイントです。では何でもよいから話してもらいましょうか？事例指導者が聞きたいことを質問し答えてもらえばよいのでしょうか？⇒傾聴の目的がポイントです。気づかない事例相談者は「自分は傾聴している」と抵抗にします。気づいてもらうためにはどうすれば良いのでしょうか。⇒抵抗する心理</p> <p>実務経験が2年の事例相談者は、経験不足や勉強不足でキャリアコンサルタントとしての面談の進め方に問題を抱えているという設定です。ケースを分析し、2年目のキャリアコンサルタントが、面談技法のどこにクセや偏りがあるかを見立て、自らそれに気づいてもらうために、どのような問いかけをすれば試験官が評価するかをお伝えします。</p> <p>さらに、「受検者の傾向」で指摘されていることを踏まえ、「評価区分」の記述と自身の面談とを比較し、合格に向けた課題を明確にします。</p>				

- |    |                              |
|----|------------------------------|
| 強化 | ・事例相談者視点の問題把握を要約で確認する方法      |
| 内容 | ・事例指導者視点の問題把握をして目標の提案まで進める方法 |

※ 本講座は2022年度1級キャリア塾（通学）11回コースに含まれています。

<p>当会でよくある質問を講座で解決します。答えが分かると、学習の方向性が見えてきます。</p>
<p>試験結果は具体的展開力が58点でした。足りないあと2点点数を上げるコツを教えてください。</p>
<p>前回の試験より点数が下がってしまいました。なぜでしょうか？</p>
<p>抵抗されないようにするには、どうしたらよいですか？ 抵抗されてしまった場合、どのようにしたらよいのでしょうか？</p>